

令和7年第11回伊賀市教育委員会 議事日程

令和7年9月29日 11:00～

伊賀市役所 2階 会議室 202

・開会宣言（開会あいさつ）

日程第1 議事録署名委員の指定について

日程第2 報告説明事項

① 崇広中学校2年生1学期音楽科成績に係る事案について

② その他

令和7年第11回伊賀市教育委員会臨時会議事録

1. 開催日時 : 2025 年（令和 7 年）9 月 29 日（月曜日） 午前 11 時
2. 開催場所 : 伊賀市役所 2 階 202 会議室
3. 出席者 : 澤田教育長、岡森委員、中委員、野口委員、内藤委員、川部事務局長、中次長、西口学校教育課長、太田学校教育課副参事
4. 傍聴人 8 人
5. 報告事項:
 - ① 崇広中学校 2 年生 1 学期音楽科成績に係る事案について
 - ② その他

閉会 : 11 時 34 分

署名委員 : 岡森委員

教育長 皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中、ご参集いただきまして、ありがとうございます。

今回の崇広中学校 2 年生 1 学期音楽科成績に係る事案につきましては、崇広中学校の生徒や保護者の皆様はもちろんのこと、市民の皆様に、学校の成績に対する不安、ひいては伊賀市の学校教育に対する不信感を抱かせる結果となりましたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。現在、法務統括監とも協議の上、再発防止の取組を進めており、今後、教職員へのアンケート調査や、聞き取りを行い、それらの結果をもとに、問題点を洗い出し、改善策として、今後の評価の指針となるガイドライン等を策定し、10 月中には公表していきたいと考えています。今後、伊賀市の教育の信頼回復に向けて、全力で取り組んで参りたいと考えています。

それでは、これより令和7年第11回伊賀市教育委員会臨時会を開催いたします。本日は、委員の過半数が出席しており会議は成立しております。

本日の議事日程は、タブレットに掲載のとおりでございますが、このように取り扱うことにご異議ございませんか。

（異議なしの声）

教育長 ご異議なしと認めます。

よって、本日の議事日程については、このとおりといたします。

それでは、これより議事に入ります。

日程第1 議事録署名委員の指定についてを議題といたします。

議事録署名委員には、**岡森委員**を指名いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 異議なしと認め、本日の委員会の議事録署名者は、**岡森委員**といたします。よろしくお願いします。

教育長 日程第2 報告説明事項①番 崇広中学校2年生1学期音楽科成績に係る事案についてを学校教育課長から説明します。

(学校教育課長 説明)

教育長 ご質疑ございませんか。

委員 子どもたち目線でみると、教員でも講師でも同じ立場であると感じます。その中で、講師に対して成績のつけ方の説明や共有はどういった形でされていたのでしょうか。

学校教育課長 学校からの聞き取りによりますと、十分な説明が担当講師にされていなかった現状があります。これまで音楽を担当していた先生が入院していたこともあり、情報共有が上手くいっていなかったところもあるようです。

委員 学校の中で同じ立場に立てるような環境を作ってほしいです。また、各学年、各教科でもチームワークを取れるように進めていってほしいです。

学校教育課長 情報共有も含めて、成績の処理をどのように進めていくのか明確化して、だれがどの役割を果たすのかを学校で洗い出しするように、該当校だけでなく全ての学校に周知しました。

委員 客観的かつ公平に判断する必要がありますが、それぞれの先生が思う公平があると思います。これまではそこをどのように判断していましたか。

学校教育課長 担当者が成績をつけた後、学年団へ提出してチェックし、最終校長が確認する中でどうかと思う場合には、まずは担当者に確認をしてそのままでもいいのか変えるのか話をするのですが、今回は懇談の直前になってしまい確認できなかったことが反省点だと思います。

委員 ご説明いただいた反省点以外に、数字を変えなければいけなかったことについての背景が他にもあるのではないかと思います。そういったことも含め、公平な観点を明確にしていいただければと思います。

学校教育課長 教育委員会が基準を示せる部分については、今後のアンケートを見ながら進めていきたいと思います。また、三者懇談で通知表を見せて説明をしなければならないという決まりはなく、今までそうしていたからという思い込みがあったのだと思いますので、最終的に校長がきちんと判断をできるよう前回の校園長会でも指示をしてあるところです。

委員 今後の処理プロセスを明確にするためのマニュアル化について、きちんと遂行されているか、不足していないか、定期的な見直しと更新が必要だと思いますが、その点はいかがでしょうか。

学校教育課長 マニュアルだけ作成しても、実際に使われていなければ意味のないものになってしまいますので、まずは適正に作成されているのか点検を行い、その後もそれが守られているのか教育委員会から確認したいと思っています。

委員 三者懇談の前日に作成した成績が明確ではないのであれば、見せるべきではなかったと思います。担任が成績のつけ方に疑問を感じた場合、正式には終業式の時にお渡しする形でもよかったと思います。最終的には校長に決裁責任がありますが、前日だったことが問題ではないかと思っています。前もって成績を記載したり、不十分な場合には終業式で提示するなど、統一していかないと教員や講師も不安に感じると思います。

学校教育課長 本来であれば1週間前に成績を締め切っていますので、十分に説明できない部分は各担当に確認し、準備していくものですので、直前ではやはり遅いと思います。いつまでに何をするのかを明確にすることと、三者懇談で出さなければならないルールはありませんので、柔軟に対応できる判断が必要だったと思います。

委員 前日に書き換えなければならなかったのか、その動機が親からのクレームが入るのではないかと恐れて書き換えたという点ですが、子どもたちを見て公平につけるのが教員の仕事だと思います。保護者説明会でも、これまでも親の目線を気にして書き換えているのではないかと保護者たちは疑念を抱いていたため、それを払拭できるような今後の防止策を期待します。よろしくお願いいたします。

学校教育課長 定期テストの点数が一番客観的な形で出るため、それを重要視するような考え方があったのではないかと思います。特に技能系の教科については実技も評価の対象になってきます。一定の基準を示せたらと思っています。

委員 学校説明会では具体的な策を示されていなかったもので、今後具体的な策は出してほしいと思います。

委員 その後の子どもたちの様子はどうか。

学校教育課長 子どもたちには心のアンケートを実施し、2名ほど不安と受け取れる回答がありましたので、その子たちには個別に話をし、カウンセラーにも相談できるように共有しております。該当となった子どもたちについては、家庭訪問を行ったため、一定の理解がされていると思っております。

委員 危機管理の組織がこういった際に機能し、校長一人で対応するのではなく、組織として役割分担をしながら対応できるようにすることが対策として必要だと思います。

学校教育課長 最終決定は校長ですが、間違った方向に進みそうな場合は正していけるような学校のシステムを作るように指示していきます。

委員 子どもたちの心のケアと信頼回復に尽力を注いでいただきたいです。他の学校にも影響があると思いますので、1日でも早く通常通りの運営をできるようにしていただきたいです。

学校教育課長 校園長会でも、全ての学校で自分の学校の問題と捉えて点検することと、教育委員会が機能しているか確認していきたいと思います。

委員 今回の件で音楽の講師が退職されたと聞きました。その後の子どものケアや代わりの講師の補充、講師が辞めたことによって少し崩れたであろうチームワークの立て直しについて、学校に任せるのか教育委員会として関わっていくのかどうするのでしょうか。

学校教育課長 代わりの講師は教育委員会が探すようにします。学校でも充分再発防止に向けた対策を取っていただいておりますが、教育委員会も学校とともに取り組みが進められるように関わっていきたいと考えております。

委員 今回、保護者説明会は教育委員会主催と聞いており、校長が説明したとなっておりますが、教頭の立ち位置はどうなっているのでしょうか。

学校教育課長 教頭は危機管理対応をしており、説明会等では校長が前に出て謝罪をしておりましたが、各家庭には校長と担任、教頭と担任等で手分けをして回っているため、教頭とも協力して取り組んでいるところです。

委員 今回の講師が担当していたのは2年生だけですか。

学校教育課長 1、3年生は別の教員が担当しており、今回については2年生だけを担当しておりました。

委員 1年生と3年生は評価を説明できないという話はなかったのでしょうか。

学校教育課長 そこまで確認はできていませんが、正規職員のため学校の中での連携できているだろうと思います。特に不安の声などは聞いておりません。

委員 教員へのアンケートをする際、講師の先生にもアンケートしてほしいと思います。

学校教育課長 成績をつけるのに関わる教職員については、正規の教員も、常勤、非常勤の講師も全て対象として考えております。

委員 これまでも学校教育の中で成績を処理する過程は引き継がれていると思いますが、各学校で成績のつけ方が違うと感じている先生もいるかもしれません。今後、この成績処理に関するプロセスが変わることはありますか

学校教育課長 先生方へのアンケート調査を実施する予定で準備をしており、変えていく必要があるという意見が出てくれば見直しも検討しなければならないかと思いますが、今回に関しては、きちんとしたプロセスを踏み、それぞれの役割を果たしていれば起きなかったのではないかという部分が大きいのので、今の段階で大きく変更しなければいけないことはないと思っています。ただ、先生方が安心して成績をつけられるような指針になるものは必要かと考えております。

委員 確認が前日となることがないよう、成績が出てきた時点で校長にもすぐ相談できるような形を作っていただきたいです。今回は「成績改ざん」という言葉が出てしまったことが大きな問題だと思います。疑念や信頼感が崩れてしまうようなことになってしまっているので、きちんとした回答を公表していただきたいと思います。

学校教育課長 実際に中学校で担任を経験し、成績をつけてきましたが、前日の夜に慌てて準備するということは考えられないことですし、もう少し前もって準備しておくことが必要です。前もって準備していくことと成績をつける段階で説明をできるようにしておくことを他の教員にも徹底していきたいと思います。

教育長 市内学校で改めて確認するとともに、少しでも疑念を晴らせるように市としてチェックしていきます。

委員 成績をつける基準は大事だと思いますが、成績確認のプロセスを保護者に示してほしいと思います。

教育長 続いて、事項②番 「その他」の項ですが、何かございませんか。

(なしの声)

教育長 以上で、本日の教育委員会に付議されました案件は、全て議了いたしました。これをもちまして、第 11 回臨時会は閉会といたします。議事協力どうもありがとうございました。

11 時 34 分 終了

以上会議の顛末を録し個々に署名する

教 育 長

教 育 委 員